

説明ターゲット

次の原稿破損

1438~1439

5年 / 月 19日

主務者又は

撮影立会者

加部東保夫



1440

1439

1438

第六六號



決行指定

決裁指定

永久

保存期限

大官房		主務局課		號番
受領	提出	受領	提出	
昭和三年三月八日	昭和三年三月八日	昭和三年三月八日	昭和三年三月八日	航空發令第三〇號
四月二十日	三月三日	三月三日	三月三日	
局長 吳	局長 吳	局長 吳	局長 吳	
主務課	第一課	主務課	第一課	

大官
閣
政務
航空要員教育要領改正ニ關スル件
三五五號
起元應(課)

政務次官
參與官
決行(決裁)
同覽課

部長
次官
高級
副官
第一課

其四當部ニテ保管
官房中
軍事

第六六號

決行指定

決裁指定

永久

保存期限

大官房	主務局	事務局	課	大官房
了結	領受	出提	領受	號番
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	航本 發第 三三 號
四月二十日	三月八日	三月八日	三月八日	
局長 兵器		局長 兵器		軍務
課長 兵器		課長 兵器		主務
課長 兵器		課長 兵器		第一課

本部長

總務部長 主務部長

高級 副官

第一課 主務課

受領番號

三五五

陸

政務次官 參與官 決裁 前 連帶 後 課名

決行(決裁)後 回覽 課名

其(一)当(一)日 陸軍省人事局補任課

本件關係書類其(一)其(二)其(三)其(四)其(五)其(六)其(七)其(八)其(九)其(十)其(十一)其(十二)其(十三)其(十四)其(十五)其(十六)其(十七)其(十八)其(十九)其(二十)其(二十一)其(二十二)其(二十三)其(二十四)其(二十五)其(二十六)其(二十七)其(二十八)其(二十九)其(三十)其(三十一)其(三十二)其(三十三)其(三十四)其(三十五)其(三十六)其(三十七)其(三十八)其(三十九)其(四十)其(四十一)其(四十二)其(四十三)其(四十四)其(四十五)其(四十六)其(四十七)其(四十八)其(四十九)其(五十)其(五十一)其(五十二)其(五十三)其(五十四)其(五十五)其(五十六)其(五十七)其(五十八)其(五十九)其(六十)其(六十一)其(六十二)其(六十三)其(六十四)其(六十五)其(六十六)其(六十七)其(六十八)其(六十九)其(七十)其(七十一)其(七十二)其(七十三)其(七十四)其(七十五)其(七十六)其(七十七)其(七十八)其(七十九)其(八十)其(八十一)其(八十二)其(八十三)其(八十四)其(八十五)其(八十六)其(八十七)其(八十八)其(八十九)其(九十)其(九十一)其(九十二)其(九十三)其(九十四)其(九十五)其(九十六)其(九十七)其(九十八)其(九十九)其(一百)

1438 1439 1440

第六號

保存期限 永久
決裁指定
決行指定

房官臣大		課局務主		件番受		政務次官
了結	領受	出提	領受	號	領	參與官
昭和 年	昭和 年	昭和 年	昭和 年	航本 發第 三二 號	三 五 五	前連帶 後課名
四月二十日	三月一日	三月八日				
局長 吳翠		局長 吳翠		局長 吳翠		決行(決裁)後 同覽課名
局長 吳翠		局長 吳翠		局長 吳翠		陸軍航空本部第一課
局長 吳翠		局長 吳翠		局長 吳翠		13
局長 吳翠		局長 吳翠		局長 吳翠		審記官
局長 吳翠		局長 吳翠		局長 吳翠		主務副官 官房御用係
局長 吳翠		局長 吳翠		局長 吳翠		副官
局長 吳翠		局長 吳翠		局長 吳翠		主務部員
局長 吳翠		局長 吳翠		局長 吳翠		審者

陸密

陸軍大臣ヨリ陸軍一般へ

昭和十一年陸密第六九四號航空要員教育要領別冊ノ通改正ス

陸密第三二七號

昭和拾參年參月拾壹日

4500

格係、増丸
其也

特務班
加

室中

格係、後、格

格係

地上

格係、後、格

1441

1442

軍事秘密

陸密第

號

航空

要員教育要領



要三校



昭和十三年 月

日 陸軍省調製

附表

枚

付

陸密第 號

航空要員教育要領改正ニ關スル件達

昭和十一年陸密第六九四號航空要員教育要領ヲ別冊ノ通改正ス

昭和十三年三月 日

陸軍 一般

陸軍大臣 杉 山 元

空防ノ有ケル

航空要員教育要領目次

第一章	總則	一
第二章	被教育者ノ採用及取扱	一
第三章	人員	四
第四章	施設兵器及被服等	四
第五章	經費	五
第六章	報告及通報等	六

航空要員教育要領

航空要員教育要領

第一章 總則

- 一 航空要員教育ノ目的ハ時局ノ必要ニ基キ航空戦力ノ骨幹タル飛行機ノ操縦整備ニ從事スベキ要員及偵察、爆撃、戦技、通信要員ヲ急速ニ養成スルニ在リ
 - 二 本要領ハ航空要員教育ノ實施ニ關シ特ニ必要ト認ムル事項ヲ規定スルモノトス
 - 三 本教育ハ陸軍航空本部長之ヲ規畫シ實施スルモノトス
 - 四 本教育間陸軍飛行學校、陸軍航空技術學校及東京陸軍航空學校(航空諸學校ト略稱ス以下之ニ同ジ)ニ於ケル學生、生徒及召集將校以下ノ種類、教育ノ目的及教育期間附表第一ノ如シ
 - 五 關東軍及航空留守航空兵團ハ本教育中操縦修業者教育及戦技教育等ノ一部ヲ擔任スルモノトス
- 關東軍及航空留守航空兵團ニ於テ擔任スベキ教育ノ細部ニ關シテハ陸軍航空本部長關東軍司令官又ハ航空留守航空兵團司令官ト協議ノ上決定スルモノトス

- 六 陸軍航空本部長ハ航空諸學校ニ於ケル教育實施ノ爲必要ナル細部ノ事項ニ關シ又關東軍司令官航空留守航空兵團司令官ハ關東軍航空留守航空兵團ニ於テ實施スル細部ノ事項ニ關シ夫々規定スベシ
- 七 航空勤務者第二次検査及地上勤務者採用試験ノ爲航空要員採用試験委員ヲ置ク其ノ編成及委員長以下ノ任務附表第二ノ如ク定ム
- 八 航空諸學校陸軍士官學校分校陸士分校ト略稱ス以下之ニ同ジ及關東軍並ニ航空留守航空兵團ニ於ケル教育ノ爲使用スル人員資材及施設等ハ本要領ニ依リ特ニ規定スルモノノ外教育擔任部隊ノモノヲ使用スルモノトス
- 第二章 被教育者ノ採用及取扱
- 九 航空諸學校陸士分校關東軍及航空留守航空兵團ニ於ケル被教育者數ハ別ニ之ヲ定ム
- 十 被教育者ハ左記各兵科(憲兵科ヲ除ク)以下之ニ同ジ現役豫備役將校以下ノ者ヲ以テ充ツルモノトス
- 1 空中勤務操縦偵察爆撃及戰技者要員
- イ 本要領十一ニ依リ充用セル各兵科特別志願將校

ロ 航空要員採用試験委員ノ合格ト認定セル各兵科現役將校年齢三十年未満ノ尉官(軍曹(停年二年未満)伍長及空中勤務ニ従事スベキ航空兵科現役下士官タルコトヲ志願スル各兵科現役上等兵(本要領十二ニ依リ現役ヲ延長シタル者ヲ含ム)

2 飛行機整備要員

イ 航空兵科現役將校及特別志願將校

ロ 機關ノ特業ヲ有スル航空兵科現役軍曹(停年二年未満)伍長及現役下士官タルコトヲ志願スル上等兵

ハ 金屬電機ニ従事スベキ下士官要員ニハ各兵科現役下士官軍曹伍長又ハ航空兵科下士官タルコトヲ志願スル各兵科現役上等兵(本要領十二ニ依リ現役ヲ延長シタル者ヲ含ム)

3 通信要員

イ 航空兵科現役將校下士官及各兵科特別志願將校

ロ 本要領十二ニ依リ採用セル各兵科上等兵

ハ 東京陸軍航空學校生徒

十一 年齢二十八年末滿(大學令ニ依ル大學學部卒業者ニ在リテハ三十年末滿)ノ各兵科豫備役將校及退營後二年以内ノ各兵科乙種幹部候補生出身ノ豫備役下士官下士官適任證書所持ノ豫備役上等兵ニシテ空中勤務飛行機整備又ハ通信ニ従事スベキ航空兵科特別志願將校又ハ航空兵科現役下士官タルコトヲ志願シ航空要員採用試験委員ノ合格ト認定セル者ハ本教育開始前各兵科特別志願將校又ハ各兵科現役下士官ニ充用又ハ採用シ航空兵科以外ノ者ニ在リテハ航空兵科ニ轉科セシメ別ニ指示スル部隊ニ編入ス

十二 空中勤務飛行機整備又ハ通信ニ従事スベキ航空兵科現役下士官タルコトヲ志願シ航空要員採用試験委員ノ合格ト認定セル各兵科現役上等兵ニシテ兵役法施行令第十七條ノ規定ニ依リ現役ヲ延長スル者ハ別ニ指示スル部隊ニ編入ス但シ當該上等兵ハ當該兵科下士官ニ補充ノ後轉科セシムルモノトス

十三 空中勤務者第二次検査受験人員ハ採用人員ノ約二倍ヲ召集スルヲ例トス

十四 航空要員ニ採用スルニ決定セル者ヲ一時原所屬部隊ニ復歸又ハ歸郷セシメ置クコトヲ得

十五 練習機ニ依ル操縦教育間必要ニ應ジ左記標準ニ依リ淘汰ヲ行フ但シ本淘汰

率ハ總テ最初ノ教育開始人員ニ對スルモノトシ教育中ニ生ジタル缺數ハ淘汰數ニ合マシムルヲ例トス

イ 操縦教育開始後約一月 約一割

ロ 同 約二月 約一割

ハ 爾後中間練習機教育間 約一割

十六 陸軍航空本部長ハ前號ニ依リ淘汰セル者ヲ更ニ他ノ要員ニ採用シ教育スルコトヲ得

十七 本要領十一ニ依リ充用セル將校ニシテ本要領十五ニ依リ淘汰セラレタル者ハ特別志願將校ヲ免ズルモノトス但シ本人ノ希望ニ依リ飛行機操縦ニ從事セザル航空兵科特別志願將校タルゴトヲ志願スル者ハ引續キ之ヲ當該兵科特別志願將校ニ充用スルコトヲ得

前項ニ依リ特別志願ヲ免セラレタル將校ハ其ノ際其ノ他ノ者ニシテ航空兵科要員トシテ充用シ得ザル程度ノ教育未修業者ハ其ノ都度原兵科ニ復歸セシムルモノトス

十八 教育擔任學校長ハ淘汰ニ依ル退校者ヲ決定セルトキハ其ノ人名ニ參考資料

三 一

ヲ附シ陸軍航空本部長ニ報告シ陸軍航空本部長ノ指示ニ依リ退校ヲ命ジ所屬部隊ニ復歸セシムルモノトス但シ前號ニ依リ特別志願將校ヲ免ゼラレタル者ニ在リテハ當該學校ヨリ歸郷セシムルモノトス

十九 本教育ニ依ル操縦者養成人員ノ分科比率ノ標準左ノ如シ但シ資材其ノ他ノ關係ニ依リ之ヲ若干増減スルコトヲ得

種類	分科	將校%	下士官%
偵察	偵察	二二	一四
戰鬥	戰鬥	二五	三三
輕爆	輕爆	二二	一〇
重爆	重爆	三三	三三

- 二十 召集中ノ被教育者ハ學校令ニ依ル學生又ハ生徒ニ準ジ取扱ヒ又被教育者中ノ上等兵ニハ下士官候補者ヲ命ジ且之ヲ下士官ニ準ジ學生又ハ召集下士官トシテ取扱フモノトス
- 二十一 被教育者ハ其ノ所屬部隊ヨリ教育擔任部隊ニ分遣シ教育スルモノトス
- 二十二 當分ノ内航空諸學校ノ生徒ノ修學期間及熊谷陸軍飛行學校又ハ陸軍航空

技術學校生徒ノ課程ヲ卒業シタル下士官候補者ノ隊附期間ヲ附表第三ノ如ク定

ム

第三章 人員

二十三 本教育ノ爲各部隊ニ特ニ増屬スル者ハ陸軍平時編制定員總數中ニ含ミテ
ルモノトス

二十四 本教育間陸軍航空本部陸軍航空技術研究所及陸軍航空廠並ニ關東軍第一
野戰航空廠ニ増加スベキ人員ハ附表第四第五ノ如シ

二十五 本教育間航空諸學校及陸士分校ニ増加スベキ人員ハ附表第六ノ如シ

二十六 本教育實施間各飛行(戰)隊及在滿飛行場大隊ニ將校下士官ヲ通ジ一中隊
宛五十名以内ノ定員外ヲ置クコトヲ得

二十七 本教育ニ依リ養成シタル下士官ノ航空部隊ニ對スル配當ハ陸軍航空本部
長之ヲ定メ陸軍大臣ニ報告シ且所管長官ニ通牒スルモノトス

二十八 本教育間必要ニ應ジ航空留守航空兵團司令官隸下部隊ノ下士官ヲ一時航
空諸學校及陸士分校ノ助教要員ニ充當スルコトヲ得此ノ場合所管長官協議ノ上

當該期間其人ヲ當該部隊ニ派遣服務セシムルモノトス

陸軍航空本部長(航空留守航空兵團司令官)隷下部隊ニ在職スル將校及准士官下士
 官ヲ其隷下ノ他ノ部隊ニ派遣服務セシムルハ陸軍航空本部長(航空留守航空兵團
 司令官)ノ命令ニ依ルモノトス
 前諸項ノ派遣者ノ派遣中ニ於ケル願届其他服務ニ關スル件ハ總テ派遣服務シテ
 ル部隊長ノ管理ニ屬ス

第四章 施設兵器及被服等

二十九 本教育ノ爲航空諸學校及陸士分校ニ於テ使用シ得ル陸軍航空本部長所管
 以外ノ陸軍演習場陸軍飛行場及其使用期間等ハ附表第七ノ如シ

前項陸軍演習場及陸軍飛行場ノ使用ニ關シテハ陸軍航空本部長之ヲ定ムルモノ
 トス

三十 本教育間ニ於ケル陸軍航空諸學校及陸士分校所要兵器ハ本達施行ノ日以後
 ハ兵器表甲號陸軍兵器廠所掌ノ器材ヲ除クニ依ルコトナク陸軍兵器廠所掌ノ兵
 器ハ附表第八ニ依ル又航空兵器ノ定數及移管ニ關シテハ陸軍航空本部長ニ於テ
 決定スルモノトス

三十一 本教育間關東軍及航空留守航空兵團ニ對シテハ別ニ定ムルトコロニ依リ

所要ノ兵器ヲ増加交付スルモノトス

三十二 前諸號ノ所要兵器ハ現在保管ノモノヲ充當シ其不足兵器ハ陸軍航空廠陸軍兵器廠所掌ノモノニ在リテハ陸軍兵器廠以下之ニ同ジヨリ之ヲ支給シ過剩兵器ハ陸軍航空廠ニ返納スルモノトス

三十三 分遣下士官兵ノ携行スル兵器被服ヲ員數ハ附表第九ノ如ク分遣下士官兵ノ所屬部隊變更アリタルトキハ所要ノ兵器被服ヲ新所屬部隊ヨリ分遣部隊ニ送付シ舊所屬部隊ノ兵器被服ハ之ヲ返還スルモノトス

三十四 本教育ノ爲ニ要スル被服ハ既ニ陸軍被服廠ヨリ交付又ハ貸與中ノモノ及各部隊委任經理品ヲ以テ充當シ尙不足スルモノハ陸軍航空本部長ヨリ貸與方申請スルモノトス

第五章 經費

三十五 本教育ノ爲ニ要スル經費ハ別ニ示スモノノ外教育擔任部隊令達豫算ヲ以テ支辨スルモノトス

三十六 本要領二十一ニ依リ教育擔任部隊ニ分遣セララル者並ニ第三次検査ヲ爲第二次検査場舊所澤陸軍飛行學校構内ニ在リニ派遣スル者並本要領二十一、二十二

依リ部隊編入又ハ十四十八ニ依リ歸隊歸郷セシムル場合ノ旅費ハ陸軍旅費規則第三十六條又ハ第四十四條ニ依リ(内地以外ニ在リテハ當該軍司令官ノ定メタル之ニ相當スル制限旅費金額)左記區分ニ依リ支給スルモノトス

イ 在隊者ニ對スル分遣旅費ハ所屬部隊ニ於テ支給ス但シ第二次検査ニ於テ採用ニ決シ直ニ入校隊スル者ノ所澤滯在間及所澤ヨリ教育擔任部隊迄ノ旅費ハ當該部隊ニ於テ支給ス

ロ 在郷者ニシテ第三次検査ニ合格シ直ニ入校隊スル者ニ對シテハ第一次身體検査當時ノ現住所身體検査當時在隊セル者ニ在リテハ除隊ノ際ノ歸郷地以下之ニ同ジヨリ教育擔任部隊迄及所澤滯在間ノ旅費ハ當該部隊ニ於テ支給ス

ハ 第二次検査ニ不合格トナリ又ハ本要領十四ニ依リ一時原所屬部隊ニ復歸又ハ歸郷セシムル者ノ旅費検査ヲ爲所澤滯在間ヲ含ムル陸軍航空技術學校ニ於テ支給ス

ニ 地上勤務者採用試験ニ不合格トナリ又ハ採用ニ決スルモ直ニ入校セシメザル者ニ在リテハ前項ニ準ジ陸軍航空技術學校ニ於テ支給ス

ホ 本要領十八ニ依リ所屬部隊ニ復歸セシムル者並ニ特別志願將校ヲ免ゼテレ

直ニ歸郷セシムル者ノ旅費ハ當該部隊ニ於テ之ヲ支給ス而シテ特別志願將校ニ對シテハ當該部隊ヨリ第一次検査當時ノ現住所迄ノ旅費ヲ支給スルモノトス

特別志願將校ニシテ教育ヲ終了シ所屬部隊ニ復歸スル者ニハ當該部隊ニ於テ復歸旅費ヲ支給シ赴任手當及第一次検査當時ノ現住所ト所屬部隊間ノ移轉料並ニ家族移轉料ヲ所屬部隊ニ於テ支給ス

本要領十一ニ依リ航空兵科特別志願將校又ハ航空兵科現役下士官ニ充用又ハ採用セラレ教育開始前部隊ニ編入セララルル者ノ旅費ハ第一次身體検査當時ノ現住所検査當時在隊セル者ハ除隊ノ際ノ歸郷地ヨリ第二次検査場迄(検査ノ爲所澤滞在間ヲ含ム)及所澤ヨリ編入部隊迄陸軍航空技術學校ニ於テ支給ス

第六章 報告及通報等

三十七 陸軍航空本隊長關東軍司令官及航空留學航空兵團司令官ハ本要領六ニ依リ規定ヲ認ケタル場合迄ヲ陸軍大臣ニ報告スベシ

三十八 教育擔任部隊長ハ教育開始ニ週間前ニ其教育計畫前圖ト差異ナキ場合ハ之ヲ除クヲ又其教育終了セバ成ルベク速ニ其實施狀況ニ所見及考科列表特業

別ニ調製ス以下之ニ同ジヲ附シ所管長官ニ報告スルモノトス又修業後修業概況
 (修業課目依備及指導上ノ注意等)ヲ被教育者ノ所屬部隊又ハ教育擔任部隊到著前
 ニ所屬部隊又ハ教育擔任部隊長ニ通報スルモノトス

三十九 關東軍司令官及航空留守航空兵團司令官ハ其擔任スル教育ノ實施計畫及
 其教育終了セバ前號ニ準ジ所要ノ事項ヲ陸軍航空本部長ニ通牒スルモノトス

四十 陸軍航空本部長ハ本要領ニ依リ在郷者ヲ採用スルニ決スル場合ハ被採用者
 ノ氏名ニ兵種階級及徵集年ヲ附記シ其旨本人ノ本籍地ノ聯隊區司令官ニ通報ス
 ルモノトス本要領ニ依リ歸郷セシメタル場合亦同ジ

四十一 陸軍航空本部長ハ本要領十八ノ規定ニ依リ被教育者ヲ其所屬部隊ニ復歸
 セシメタルトキハ必要ノ事項ヲ陸軍大臣ニ報告シ所管長官ニ通牒スルモノトス
 四十二 陸軍航空本部長ハ本要領ニ依ル所定ノ教育ヲ終了シタル將校ノ考科列次
 表ヲ教育終了後陸軍大臣ニ報告スベシ

四十三 本要領二十八ニ依ル派遣者アルトキハ所管長官ハ陸軍武官命課配屬規則
 第四條ニ準ジ將校ト准士官以下トヲ別紙トシ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

航空要員採用試験委員編成表

考	備	委員		長		區分階級	人員	任務
		員	附員	少將	佐尉			
(一)	委員長ハ陸軍航空本部第一部長之ヲ兼任ス			一		大臣ニ隸シ委員業務ヲ總理ス		
(二)	委員及委員附ハ他ノ官衙、學校及軍隊ニ本職ヲ有スル者ヲ以テ充ツルモノトス			一〇		學科及人物考査ニ任シ高級先任者ハ其ノ合否ヲ判定ス		
(三)	佐尉官ノ中少クモ二名ハ操縦者トス			二五		第二次身體檢査ニ任シ高級先任者ハ其ノ合否ヲ判定ス		
(四)	軍醫佐尉官ハ陸軍軍醫學校甲種士官學生卒業者又ハ同程度以上ノ學術技能ヲ有スル者ヲ以テ充ツルモノトス			一〇				
(五)	衛生下士官ハ雇員ヲ以テ代用スルコトヲ得			五				
(六)	本表ノ人員ノ外委員ニ主計佐尉官一、委員附ニ主計下士官一ヲ増加ス							
(七)	本表人員ノ外小使一、給仕一ヲ附ス							
(八)	本表ノ外必要ニ應ジ所要ノ人員ヲ増加スルコトヲ得							

附表第三

航空諸學校ニ於ケル生徒ノ修學期間及下士官候補者トシテノ隊附期間表		
生徒ノ種類	修學期間	下士官候補者トシテノ隊附期間
第四期操縦生徒	一年六月	六月
第三期技術生徒	二年五月	六月
第四期技術生徒	二年五月	六月
昭和十三年二月入校ノ東京陸軍航空學校生徒	三年	六月
第二期東京陸軍航空學校生徒(無線要員)	六月、爾後技術生徒トシテ一年六月	一年
第五期操縦生徒	一年三月	六月
第五期技術生徒	二年二月	六月
同 (無線要員)	一年十一月	八月

三

附表第四

陸軍航空本部ニ増加スベキ人員表		人員	
區分	職務	人員	員
總務部	少佐(大尉)	一	一
第一部	少佐(大尉)	一	一
第二部	主計少佐(大尉)	一	一
第三部	少佐(大尉)	二	二
計	將校 五 准士官 一 下士官、判任文官	二五	二五

備考

(一) 本表ニ示ス下士官、判任文官ハ判任文官ノミヲ以テ充ツルコトヲ得
 (二) 本表ニ示ス各部下士官ハ判任文官ヲ以テ充テ又各部將校ハ囑託ヲ以テ判任文官ハ雇員ヲ以テ代フルコトヲ得

航

四

陸軍航空技術研究所、陸軍航空廠及關東軍第一野戰航空廠ニ増加スベキ人員表

考 備	計	關 東 軍 第 一 野 戰 航 空 廠	陸 軍 航 空 廠			陸 軍 航 空 技 術 研 究 所	區 分	人 員
			支 本		廠			
			各 務 原	立 川				
(一) 本表ニ示ス下士官、判任文官ハ判任文官ノミヲ以テ充ツルコトヲ得 (二) 本表ニ示ス各部下士官ハ判任文官ヲ以テ充テ又判任文官ハ雇員ヲ以テ代フルコトヲ得	將 校 一〇	大 尉 二	大 尉 二	少 佐 (大尉) 一	衛 生 下 士 官 一〇			
	技 術 主 計 工 下 下 士 士 手 官 官 官 一 一 一 二 二	技 術 主 計 工 下 下 士 士 手 官 官 官 二 一 一 一 一 六	技 下 士 官 判 任 文 官 手 官 一 二	技 下 士 官 判 任 文 官 手 官 二 二	技 主 計 下 士 手 官 官 官 一 一 二			

航

五

附表第六

備考	計	衛生	軍醫	主計	機關又ハ其ノ他	操縦	區分		校名						
							階級	名	佐尉官	飛行					
本表ニ示ス各部將校ハ囑託ヲ以テ又各部下士官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ代フルコトヲ得	二二三		六	二	五	一〇	佐尉官	熊谷陸軍飛行學校	下志津陸軍飛行學校	明野陸軍飛行學校	松島陸軍飛行學校	陸軍航空學校	東京陸軍航空學校	陸軍航空學校	陸軍航空學校
	九三	二		二	九	六〇	下士官								
	一一		三	一	四	三	佐尉官								
	三〇	三		三	九	一五	下士官								
	一五		二	一	二	一〇	佐尉官								
	一二	二			二	六	下士官								
	一三		二	一	三	七	佐尉官								
	三八	三		四	六	二五	下士官								
	一一		四	一	五	一	佐尉官								
	二三	四		二	一五	二	下士官								
	三				三		佐尉官								
	八	一		一	六		下士官								
五四			二	二	二〇	佐尉官									
一五四	三			三	四〇	下士官									

航空諸學校及陸士分校ニ増加スベキ人員表

航

附表第七

備考	航空兵團		第十四		第三		師管	飛行習場	使用期間	使用物件	摘要	
	(一) 三方ヶ原演習場ハ飛行部隊ノミニテ使用シ之カ使用ニ關シテハ陸軍航空本部長之ヲ區處スルモノトス (二) 本表以外ノ演習場又ハ飛行場ノ使用ニ關シテハ其ノ都度使用部隊ト所管長官ト協定スルモノトス	濱	立	八日	各務原(飛二)	金丸	老津	本地ヶ原	至自	昭和十二年三月二十八日	飛行場地區、廠舎百二十名	飛行場地區ハ地平均ノ爲使用期間約一箇月前ヨリ使用ヲ禁止スルコトアリ
松(飛七)		川(飛五)	市(飛三)	原(飛二)	原	津	原	至自	昭和十二年三月二十八日	飛行場地區、廠舎百二十名		
									至自	昭和十三年三月三十一日	飛行場	使用ノ細部ニ就テハ當事者間ニ於テ協定スルモノトス
									至自	昭和十三年四月三十日	飛行場、兵舎ノ一部	
									至自	昭和十三年十月三十日	飛行場、兵舎ノ一部	
									至自	昭和十四年十二月三十日	飛行場、兵舎ノ一部	
									至自	昭和十四年三月三十日	飛行場、兵舎ノ一部	
								至自	昭和十五年六月三十日	飛行場		
								至自	昭和十四年六月三十日	飛行場		

航空諸學校及陸士分校ニ於テ使用シ得ル
陸軍演習場、陸軍飛行場及其ノ使用期間一覽表

附表第八其一

航空諸學校

再校力要

航空諸學校(東京陸軍航空學校ヲ除ク)及陸士分校所要兵器表 其一

品目		員數	
三十二年式軍刀乙	劍	一七一	飛谷陸軍飛行學校
三十八式步兵銃	銃	一、二一四	下志津陸軍飛行學校
三十四年式拳銃	銃	三六一	明野陸軍飛行學校
十年式信號拳銃	銃	二〇	瀨松陸軍飛行學校
高射機關銃	銃	二〇	陸軍航空學校
三年式機關銃	銃	四	陸軍航空學校
空包銃身	銃	四	陸軍航空學校
甲彈藥箱個	箱	八	陸軍航空學校
喇叭	個	四	陸軍航空學校
十一年式輕機關銃	銃	四	陸軍航空學校
空包銃身	銃	四	陸軍航空學校
彈藥盒	盒	一六	陸軍航空學校
彈匣	匣	八	陸軍航空學校
彈囊	囊	四	陸軍航空學校
三脚架乙	架	四	陸軍航空學校
九二式重機關銃	銃	三〇	陸軍航空學校
空包銃身	銃	三〇	陸軍航空學校
高射用具	具	三	陸軍航空學校
甲器具箱組	組	一	陸軍航空學校

考 備		自	側
		轉	車
		車	車
一 陸軍士官學校分校ニ對シテハ屯營用自動車工具ノ平行萬力三箇ヲ充當スルモノトス 二 本表ノ外三十二年式軍刀乙、三十年式銃劍、三八式步兵銃及小銃擬製彈ヲ所要ニ應シ増加備付クルモノトス		二〇	一一
		一三	七
		一〇	七
		二〇	一三
		二〇	五
		三〇	一

航

九

1467

1467

附表第八其二

航空諸學校及陸士分校所要兵器表 其二

品名	單位	員數						總數
		飛行學校軍	下志津陸軍	飛行野陸軍	飛行松陸軍	陸軍航空學校	陸軍分校	
現	機	四	三〇	三	一〇	二	六〇	
九二式電話機	機	二〇	三〇	二〇	二〇	六	六四	
九三式十二回線交換機	機	三	三	一	三	一	五	
九二式小被覆線卷	卷	四〇	六〇	四〇	四〇	一〇	一三〇	
小絡專櫃	櫃	六	一〇	七	七	二	一三	
繰出線掛	掛	四	六	四	四	三	一三	
九二式小絡車	車	四〇	六〇	四〇	四〇	一三	一三〇	
九二式小絡匣	匣	四	六	四	四	三	一三	
大革胴亂	亂	四	六	四	四	三	一三	
紐附小鐵線鈎	鈎	四	六	四	四	二	一三	
携帶電壓流計器	器	四	六	四	四	三	一六	
懷中電壓流計	計	四	六	四	四	三	一六	
百ツオルト絶緣計	計	二	三	二	二	六	一六	
油	計	五	六	四	四	二	二二	
零脚式手入具	具	四	六	四	四	二	二二	
通信器具箱	箱	一〇	一三	八	八	二	二四	
手旗組	組	一〇	一五	一〇	五	六	三〇	
單旗	旗	三	一五	一〇	一〇	六	三〇	
持電波式送受信機	機	三	三〇	一〇	一〇	六	一〇〇	

水		器										土											
龍	鉞	罍	曲	五	辟	道	六	九	尺	尺	尺	尺	中	鏃	鎗	手	斧	大	耨	短	長	鶴	十
			寸			寸	寸	寸	一	三	一	三	山			斧			始	鐵	鐵		字
鈞	甗	尺	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	刃被附	刃被附	刃被附	刃被附	鏃	鏃	挺	挺	嘴	鐵
一〇	三	四	二〇	二	三	六	三	九	一〇	四	一〇	六	四	二八	一四	一〇	三	一六	五	一六	一六	一四	九〇
一〇	三	四	一四	二	三	六	三	九	五	四	一〇	六	四	一八	一四	一〇	三	五	三	六	六	五	一五
一〇	三	四	一四	二	三	六	三	九	五	四	一〇	六	四	一八	一四	一〇	三	五	三	六	六	五	一五
一〇	三	四	一四	二	三	六	三	九	五	四	一〇	六	四	一八	一四	一〇	三	五	三	六	六	一〇	二五
六三	二	四二	一八一	二〇	二六	四二	三三	六六	七二	二	五〇	六	四	二八	一二	八	二	一〇	五	六	六	五	三〇
四六	三五	八七	一四	三〇	三二	一九	五五	二八	五	四八	五	六	五	三六	一	一〇	四	一〇	一〇	七〇	一三〇		

品名		單位	飛谷陸軍學校	飛下志建陸軍學校	飛明野陸軍學校	飛濱松陸軍學校	陸軍航空學校	陸軍士官學校分校
中	銃	銃	一〇	一〇	一〇	一〇	六三	四六
仕	銃	銃	一〇	一〇	一〇	一〇	六三	四六
一	銃	銃	四	四	四	四	二八	一五
伍	銃	銃	五	五	五	五	四	四
荒	銃	銃	五	五	五	五	三	三
左	銃	銃	三	三	三	三	六	六
右	銃	銃	三	三	三	三	六	六
高	銃	銃	三	三	三	三	八	八
一	銃	銃	三	三	三	三	三〇	三〇
一	銃	銃	三	三	三	三	三〇	三〇
八	銃	銃	三	三	三	三	一五	一五
左	銃	銃	三	三	三	三	七	七
右	銃	銃	三	三	三	三	七	七
六	銃	銃	五	五	五	五	四八	三〇
四	銃	銃	一〇	一〇	一〇	一〇	四二	三〇
三	銃	銃	八	八	八	八	三三	三〇
三	銃	銃	一〇	一〇	一〇	一〇	三三	三〇
八	銃	銃	六	六	六	六	一	三〇
六	銃	銃	一〇	一〇	一〇	一〇	三〇	三〇
四	銃	銃	一〇	一〇	一〇	一〇	三〇	三〇
六	銃	銃	六	六	六	六	三五	一五
四	銃	銃	六	六	六	六	三五	一五

航

材															器															工															木																																																																																																																																																																						
大	小	大	雁	木	小	大	目	鎌	野	木	小	細	洋	釘	才	鎌	小	大	一	一	四	六	六	大	小	大	雁	木	小	大	目	鎌	野	木	小	細	洋	釘	才	鎌	小	大	一	一	四	六	六	大	小	大	雁	木	小	大	目	鎌	野	木	小	細	洋	釘	才	鎌	小	大	一	一	四	六	六	大	小	大	雁	木	小	大	目	鎌	野	木	小	細	洋	釘	才	鎌	小	大	一	一	四	六	六																																																																																																																				
通	通	通	木		目	目				工		附	形				玄	玄	分	寸	分	分	分	通	通	通	木		目	目				工		附	形			玄	玄	分	寸	分	分	分	通	通	通	木		目	目				工		附	形			玄	玄	分	寸	分	分	分	通	通	通	木		目	目				工		附	形			玄	玄	分	寸	分	分	分																																																																																																																							
四	三	三			立	立						小	釘				翁	翁	押	四	分	内	外	四	三	三			立	立					小	釘				翁	翁	押	四	分	内	外	四	三	三			立	立					小	釘				翁	翁	押	四	分	内	外	四	三	三			立	立					小	釘				翁	翁	押	四	分	内	外																																																																																																																							
目	目	目			錐	錐						刀	刀	拔	拔	槌	鋪	翁	翁	鑿	鑿	鑿	鑿	目	目	目			錐	錐					刀	刀	拔	拔	槌	鋪	翁	翁	鑿	鑿	鑿	鑿	目	目	目			錐	錐					刀	刀	拔	拔	槌	鋪	翁	翁	鑿	鑿	鑿	鑿	目	目	目			錐	錐					刀	刀	拔	拔	槌	鋪	翁	翁	鑿	鑿	鑿	鑿																																																																																																																							
錐	錐	錐	錐	錐	錐	錐	振	挾	引	莖	刀	刀	拔	拔	槌	鋪	翁	翁	鑿	鑿	鑿	鑿	錐	錐	錐	錐	錐	錐	振	挾	引	莖	刀	刀	拔	拔	槌	鋪	翁	翁	鑿	鑿	鑿	鑿	錐	錐	錐	錐	錐	錐	振	挾	引	莖	刀	刀	拔	拔	槌	鋪	翁	翁	鑿	鑿	鑿	鑿	錐	錐	錐	錐	錐	錐	振	挾	引	莖	刀	刀	拔	拔	槌	鋪	翁	翁	鑿	鑿	鑿	鑿																																																																																																																											
六	二	六	一〇	一〇	八	五	一〇	五	五	五	一六	一八	一五	一六	三〇	七	一六	一〇	五	五	四	四	三	六	二	六	一〇	一〇	八	五	一〇	五	五	一六	一八	一五	一六	三〇	七	一六	一〇	五	五	四	四	三	六	二	六	一〇	一〇	八	五	一〇	五	五	一六	一八	一五	一六	三〇	七	一六	一〇	五	五	四	四	三	六	二	六	一〇	一〇	八	五	一〇	五	五	一六	一八	一五	一六	三〇	七	一六	一〇	五	五	四	四	三	六	二	六	一〇	一〇	八	五	一〇	五	五	一六	一八	一五	一六	三〇	七	一六	一〇	五	五	四	四	三	一五	七七	二二	六二	六二	一七	一一	一一	一一	一一	七七	七七	九四	八二	一一	一一	一八	一〇四	四六	二一	一六	五二	一四	三一	一五	七七	二二	六二	六二	一七	一一	一一	一一	一一	七七	七七	九四	八二	一一	一一	一八	一〇四	四六	二一	一六	五二	一四	三一	一五	七七	二二	六二	六二	一七	一一	一一	一一	一一	七七	七七	九四	八二	一一	一一	一八	一〇四	四六	二一	一六	五二	一四	三一	一五	七七	二二	六二	六二	一七	一一	一一	一一	一一	七七	七七	九四	八二	一一	一一	一八	一〇四	四六	二一	一六	五二	一四	三一

小 圓 鏢	中 圓 鏢	大 圓 鏢	小 圓 鏢	大 圓 鏢	大 圓 鏢	中 圓 鏢	三 圓 鏢	五 圓 鏢	銅 圓 鏢	佛 圓 鏢	勳 圓 鏢	小 圓 鏢	大 圓 鏢	小 圓 鏢	中 圓 鏢	大 圓 鏢	中 圓 鏢	中 圓 鏢	火 圓 鏢	中 圓 鏢	大 圓 鏢	小 圓 鏢
壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
一 一	四 〇	一 一	三 六 四	一 一	五 〇	五 〇	四 〇	三 三	八 二	二 三	六 二	七 二	四 〇	七 二	七 五	四 七	三 九	六 二	四 〇	三 九	三 一	三 一
四	一 九	四	一 七 五	一 〇	二 二	二 二	二 三	二 三	六 八	七 六	五 〇	六 〇	三 八	四 六	四 五	四 〇	三 〇	三 五	三 六	一 七	六	二 五

品目																		位置		航空		陸軍		分校	
小	六	十	柄	打	打	申	大	大	大	小	大	申	大	有	小	大	小	申	大						
銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃						
銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃						
銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃	銃						
五	二	三	一〇	一〇	一〇	一〇	六	〇	六	〇	〇	四	一〇	一〇	四	一六	四	四	三	一〇	四				
五	二	二	四	四	四	三	六	七	六	四	四	四	四	六	四	四	四	四	四	六	四				
五	二	二	四	四	四	三	六	七	六	四	四	四	四	六	四	四	四	四	四	六	四				
五	二	二	四	四	四	三	六	七	六	四	四	四	四	六	四	四	四	四	四	六	四				
四	五	二	二	三	三	四	四	六	五	一	四	三	四	四	五	四	五	四	一	四	一				
四	二	二	二〇	二	四	八	八	一七	一五	九	二〇	二	二〇	二〇	四	二七	四	一九	六	二	六				

材		器		手		鏡																	
小	太	小	手	大	大	小	火	反	鏡	弦	小	中	大	器	鏡	内	小	大	小	大	鏡	遊	鋼
掌	掌	形	取	取	は	は	は	鏡	鏡	鏡	定	定	定	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡
申	中	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取
萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬
力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力	力
一〇	一七	三五	四五	一〇	二五	一〇	二四	二六	二二	八	八	五	二〇	一〇	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	四四	二五	
四	四	一二	二〇	二	七	五	六	六	八	三	四	五	二	一	五	四	四	四	三	三	一三	五	
四	四	一二	二〇	二	七	五	六	六	八	三	四	五	二	一	五	四	四	四	三	三	一三	五	
四	四	一二	二〇	二	七	五	六	六	八	三	四	五	二	一	五	四	四	四	三	三	一三	五	
一三	四三	九三	三〇八	二〇	五三	四二	八二	一五二	五二	六	二六	一一	一五三	六三	五二	一三三	四二	六二	一九二	七三	二六〇	一九〇	
九	九	三五	一五〇	一〇	六〇	三〇	五五	五五	三六	六	二〇	二二	三〇	一〇〇	四〇	四〇	三八	五二	四〇	四〇	二〇	九五	

品目	銃																	單位					
	材							工															
	大	小	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百						
飛行學校軍	八	七五	九五	九五	九五	八八	三五	八一	三五	七二	五五	三五	三五	七七	九〇	二八	七八	五〇	八四	八七	八〇	三七	一八
下志津陸軍	五	一〇	三六	三六	三六	二六	二八	二〇	一〇	一〇	二八	一五	一五	二八	二八	一七	一〇	一八	三六	一八	四	四	四
明野陸軍	五	一〇	三六	三六	三六	二六	二八	二〇	一〇	一〇	二八	一五	一五	二八	二八	一七	一〇	一八	三六	一八	四	四	四
濱松陸軍	五	一〇	三六	三六	三六	二六	二八	二〇	一〇	一〇	二八	一五	一五	二八	二八	一七	一〇	一八	三六	一八	四	四	四
陸軍航空	五	三九〇	三一〇	四六〇	三〇五	二九〇	二四〇	一五八	一二〇	一五四	一五四	一三四	一五五	二四〇	二四〇	二二〇	七五	三五〇	三一五	二四七	一〇	四五	八
陸軍士官	五	一七三	一五七	二二三	一八二	二三八	二四六	一四一	一三一	一九六	一二五	一三三	一三三	一八〇	一八〇	一三〇	六〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	八	三〇	三〇

材		器		雜		材		器		材		器		工		解								
切	鉄	網	網	車	具	具	具	機	機	燈	燈	器	硯	硯	硯	機	機	機	機	機	機	機	機	
三五	一六三	三〇〇	三〇〇		六	六	五			一	七〇	七〇	四	一四	二四	二	四	一五	一五	一五	一五	一五	六	
三	七	三	三	三	四	四	二	一〇	二		四〇	四〇	一	五	四	一	一	五	五	五	五	五	六	
三	七	三	三	三	四	四	二			二	四〇	四〇	一	五	四	一	一	五	五	五	五	五	六	
三	七	三	三	三	四	四	二				四〇	四〇	一	五	四	一	一	五	五	五	五	五	六	
七	二四	三〇〇	一〇								一六五	五五												
一	七	四〇〇									一四三	三六												
一	七	四〇〇									一四三	三六												

考	備	器 材										品 目	位 單	熊谷陸軍飛行學校	下志津陸軍飛行學校	明野陸軍飛行學校	濱松陸軍飛行學校	陸軍航空技術學校	陸軍士官學校		
		儀	一	十	鳩	七	六	五	四	三	脚										
	一 本表器材ハ不制品ヲ以テ代用スルコトヲ得 二 本表器材ハ其一部ヲ所要ニ應ジ增加スルコトヲ得	中	砥	砥	目	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	錫		六	三	三	三	三	三	三	三
		時	卓	卓	目	目	目	目	目	目	目	錫		一〇	一	一	一	一	一	一	一
		計	秤	秤	拔	拔	拔	拔	拔	拔	拔	錫		三	四	四	四	四	四	四	四
														五	一	一	一	一	一	一	一
														三	四	四	四	四	四	四	四
														〇	五	四	七	五	七	七	七

分遣下士官、兵ノ携行スベキ兵器及被服員數

一 兵器

軍刀又ハ銃劍ノミヲ携行セシムルモノトス

二 被服

- 軍隊經理規程附表第六分遣者等携行被服員數表其ノ一陸軍飛行學校生徒ノ欄ニ準ズルモ左記ノ通加除ス但シ分遣期間ハ操縦要員ニ在リテハ一年、機關ニ在リテハ六月、金屬及電機ニ在リテハ一年八月、戰技ニ在リテハ五月、通信ニ在リテハ六月ヲ標準トス
- (1) 乘馬兵科ニ在リテハ革脚絆ヲ以テ卷脚絆ニ代フルコトヲ得
 - (2) 作業衣袴第一種ハ保管セザル部隊ハ之ヲ缺クコトヲ得
 - (3) 背囊、携帶天幕及防護面(甲)ヲ除ク

軍事秘密法

第三五五號

陸軍

陸

軍

航空要員教育要領增加配布相成度件上申

航空要員教育要領增加配布相成度件上申

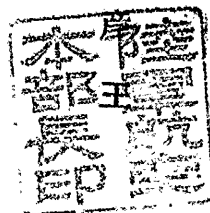
昭和十三年三月二十四日

陸軍航空本部長

稔

陸軍大臣 杉山元 殿

首題ノ件業務上不足ニ付別紙目錄ノ通増加配布相成度上申ス



青蓋配布ス



1481

軍事秘密

軍事秘密書類請求目録

請求部隊

陸軍航空

陸軍

開製年月日

番 號

件 名

一連番

數

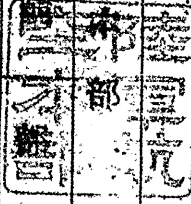
昭和二三三二一

陸密二二七

航空要員教育要領

軍事秘密

五



保存期限 十年 決裁指定 局長 決行指定

大臣 松本 義一	政務次官 松本 義一	政務 次官	次官	政務 次官	陸軍
本部長 松本 義一	高級 官	參與官	書記官	陸軍航空本部	
總務部長 松本 義一	第一課長 松本 義一	主務副官	主務御用係 官		
主務部長 松本 義一	主務課長 松本 義一	副官	主務 課長		
局長 松本 義一	局長 松本 義一				
局長 松本 義一	局長 松本 義一				
局長 松本 義一	局長 松本 義一				

政務次官
回付 決裁 前 連帶
參與官
後 課名 軍事課
主計
決行(決裁)後
回覽 課名
起元應(課)名
陸軍航空本部

航空要員教育要領中改正ニ關スル件

大 臣

政務

次官

次官

政務

次官

參與官

書記官

者筆審
記案

大 臣

政務

次官

次官

政務

次官

參與官

書記官

者筆審
記案

大 臣

政務

次官

次官

政務

次官

參與官

書記官

者筆審
記案

陸軍航空部ヨリ陸軍一般へ通牒

陸密 號

昭和十三年陸密第二二七號航空要員教育要領中左記ノ通改正

左記

第三十六條

二行目括弧内ヲ陸軍航空技術研究所ニ改ム

ニ、二行目「所澤滞在間及所澤」ヲ「立川滞在間及立川」ニ

ロ、三行目「所澤滞在間」ヲ「立川滞在間」ニ

ハ、二行目括弧内「所澤滞在間」ヲ「立川滞在間」ニ又

「陸軍航空技術學校」ヲ「陸軍航空技術研究所」ニ

ニ、二行目「陸軍航空技術學校」ヲ「陸軍航空技術研究所」ニ

セシ
通
正

陸軍

ト、四行目「所澤滞在間」ヲ「立川滞在間」ニ

「及所澤ヨリ」ヲ「及立川ヨリ」ニ又

「陸軍航空技術學校」ヲ「陸軍航空技術研究所」ニ訂正ス

陸密第三七七號

昭和七年四月六日

久500



理由

所澤ニ於ケル第二次検査場災害ヲ受ケ立川技術研究所ニ移
轉シタルニ由ル

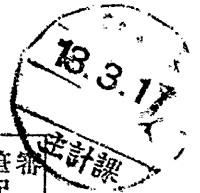
1485



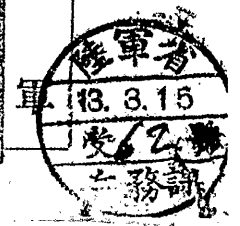
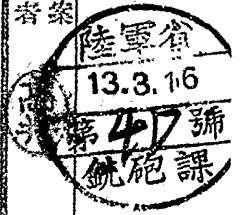
(裁決)行決後 覽回		帶 運		決 行 指 定		決 裁 指 定		保 存 期 限	
長(部)局		長 (部) 局		大 臣		件 名		番 受 領 號	
				委		航空要員教育要領ニ依ル増加人員中准士官、下士官、判任文 官定員區分ノ件		陸軍省 第355號	
				政 務 次 官				(決行後)	
長 課		長 課		官 與 參		官 務 次 官		起元應(課名)	
		兵務 徵募 補任 參本		長局務主 官副級高 官與參		官 務 次 官		軍 事 課	
		衛生 主計 銃砲 整備		長課務主 副主務 書記官		官 務 次 官		陸軍省 第47號 銃砲課	
				房官臣大 課局務主		官 務 次 官		陸軍省 第47號 銃砲課	
				了結領受 出提領受 號審		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日	
				昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日	
				昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日	

政務官 回付(決行前)

(決行後)



筆記者





航人普發第八七號

教育總監部、關東軍、航空、留守航空、兵團、陸軍航空
本部所轄部隊准士官、下士官、判任文官定員區分表ノ件

昭和十三年二月二十三日

陸軍航空本部第一課

陸軍省軍務局軍事課 御 中

昭和十三年二月陸密第 號航空要員教育要領ニ依リ各部隊ニ増加
スヘキ准士官、下士官、判任文官ヲ別紙區分表ノ通定メラレ度

陸軍

教育總監部、關東軍、航空（留守航空）兵團、陸軍航空本部所轄部隊准士官、下士官、判任文官定員區分表

部隊階級	陸軍航空本部			陸軍航空技術研究所	第一野戰航空廠	熊谷陸軍飛行學校	下志津陸軍飛行學校	明野陸軍飛行學校	濱松陸軍飛行學校	陸軍航空技術學校	東京陸軍航空學校	陸軍士官學校分校	准尉	曹長	軍曹	主計 下士官	衛生 下士官	屬 技手	計	摘 要	
	本廠	支立川	各務原																		
飛行部隊													四	一七	二七				四八	<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>三、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>四、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>五、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>六、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>七、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>八、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>九、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>十、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>十一、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>十二、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>十三、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>	
陸軍航空本部													一	三		二	二	二	一六		<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p> <p>三、各部隊長官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>
陸軍航空技術研究所																	一〇		一〇		<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>
第一野戰航空廠																		四	四		<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>
熊谷陸軍飛行學校																		二	二		<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>
下志津陸軍飛行學校																		二	二		<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>
明野陸軍飛行學校																		二	二		<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>
濱松陸軍飛行學校																		四	三		<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>
陸軍航空技術學校																		二	四		<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>
東京陸軍航空學校																		一	四		<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>
陸軍士官學校分校																		三	三		<p>一、附表第五ノ人員</p> <p>二、各部下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得</p>
計													三五	八〇	三三	三	三		一五四		

密 第三五五號其三

陸軍

昭和拾參年四月拾日

秘電報譯

四月九日午後二時五分著



副官 宛

發信者 中支那派遣軍副官

伊集副電第二六三號

陸密第二二七號十九部受領ス 配布区分表至急

送付アリ度

(終)

副官中支那派遣軍副官へ電報

伊集副電二六三返陸密二二七號三月二十三日半花門郵便局引受書留

小包番締九二六ヨリ九三〇迄五箇書送付調査セシ後配布

区分ハ甲ナリ

郵電長印副入

1489

印刷

密 355

陸密第 號

航空要員教育要領改正ニ關スル件達（決定案）

陸軍一般

昭和十三年陸密第二二七號航空要員教育要領改正中左ノ通改正ス

昭和十三年八月 日

陸軍大臣 板垣征四郎

1492

第三號 削 除

第四號ヲ左ノ通改ム

本教育ハ陸軍飛行學校、陸軍航空技術學校、陸軍航空整備學校、東京陸軍航空學校（航空諸學校ト略稱ス以下之ニ同ジ）陸軍士官學校分校（陸士分校ト略稱ス以下之ニ同ジ）、關東軍及第一飛行集團ニ於テ擔任スルモノトス

第五號ヲ左ノ通改ム

本教育ノ爲航空諸學校、關東軍、第一飛行集團ニ召集スル將校以下ノ種類、教育ノ目的及教育期間附表第一ノ如シ

第八號中「陸軍士官學校分校（陸士分校ト略稱ス以下之ニ同シ）」ヲ「陸士分校」ニ改ム

第十七號ノ第二項ヲ削除ス

第二十二號ヲ左ノ通改ム

當分ノ内航空諸學校ノ生徒ノ修學期間及熊谷陸軍飛行學校操縱生徒、
水戸陸軍飛行學校通信生徒又ハ陸軍航空整備學校技術生徒ノ課程ヲ
卒業シタル下士官候補者ノ隊附期間ヲ附表第三ノ如ク定ム

第三十六號

ニ、中「陸軍航空技術研究所」ヲ「陸軍航空技術研究所又ハ召集學
校」ニ改ム

附表第一ヲ左ノ通改ム

附表第一

備考	備	第一飛行團		關東軍		航空陸軍學校	陸軍航空整備學校	陸軍航空技術學校	水戸陸軍飛行學校	濱松陸軍飛行學校	明野陸軍飛行學校	下志津陸軍飛行學校		熊谷陸軍飛行學校	教育擔任部隊	航空諸學校 關東軍 第一飛行集團 召集將校以下ノ種類、教育目的及期間區分表						
		同	召集 下士官	召集 尉官	同	召集 下士官	第二期生徒(無線要員急速養成)	同(同)	同(同)	整備學生(下士官)	召集 尉官	召集 下士官	召集 尉官	召集 下士官	同(特別志願將校)		同(特別志願將校)	召集者ノ種類 操縦學生(將校)				
本表中召集尉官(操縦修業者)中ニハ現役見習士官ヲ、下士官中ニハ上等兵ヲ含ムモノトス		戰技	操縦修業者	爆撃	戰技	通信生徒	金屬	電機	機關	整備	戰技	通信	通信	操縦修業者	操縦修業者	偵察	戰技	基本操縦	教育目的	教育期間	摘要	
		六	四	四	六	四	六	一年六月	六	十	四	三	四	三	四	六	四	三	四	一年三月	八	ニ 定員内ノ者ト同時 教育ス

附表第二中左ノ通定ム

委員佐尉官ノ行、人員ノ欄「一〇」ヲ「一五」ニ改ム

附表第三
左ノ通改ム
附表第三

航空諸學校ニ於ケル生徒ノ修學期間及下士官候補者トシテノ隊附期間表			
生徒ノ種類	修學期間	下士官候補者トシテノ隊附期間	摘 要
第一期操縦生徒	一年六月	六月	
第二期操縦生徒	一年三月	六月	
第三期技術生徒	二年五月	六月	
第四期技術生徒	二年五月	六月	
第五期技術生徒	二年二月	六月	
通信生徒(臨時養成)	十一月	八月	昭和十三年二月入校ノ東京陸軍航空學校生徒出身者トス
第二期東京陸軍航空學校生徒(無線要員)(急速養成)	六月		
通信生徒(急速養成)	一年六月	一年	第二期東京陸軍航空學校生徒(無線要員)出身者トス(急速養成)

附表第五中左ノ通改ム

陸軍航空技術研究所ノ行、「衛生下士官一〇」ノ右ニ「主計下士官」ヲ加フ

附表第六ヲ左ノ通改ム
附表第六

航空諸學校及陸士分校ニ増加スベキ人員表

考 備	階級 區分	校		佐尉官	下准士士官	主計佐尉官	主計下士官	軍醫佐尉官	衛生下士官	計
		熊谷陸軍飛行學校	下志津陸軍飛行學校							
一、本表ニ示ス各部將校ハ囑託ヲ以テ又各部下士官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ代フルコトヲ得 二、本表中陸軍士官學校分校ノ人員ハ航空兵科専門教育及之ニ關聯スル業務ニ必要ナル人員ノミ ナ示ス		一五	四	一五	六九	二	二	六	二	一一六
		一二	一	一二	八	一	一	一	二	三〇
		一〇	三	一〇	二一	二	一	二	二	二五
		三	六	三	一四	一	一	三	一	三七
		三	六	三	一四	二	一	二	一	二五
		三	六	三	一四	二	一	二	一	二九
		三	六	三	一四	一	一	一	一	一一
		五〇	一四八	二	二	二	二	三	二	二〇八
		三	三	三	三	三	三	三	三	三

附表第七中第一飛行集團ノ行ヲ左ノ通改ム

第一飛行集團			
各務原(飛一)	自昭和十三年九月一日 至同十五年四月三十日	飛行場及 兵舎ノ一部	使用ノ細 部ニ就テ ハ當事者 間ニ於テ 協定スル モノトス
同(飛二)	自昭和十二年十二月一日 至同十四年十二月三十一日	同	
八日市(飛三)	自昭和十三年四月一日 至同十四年十月三十一日	同	
立川	自昭和十三年三月一日 至同十五年十月三十一日	同	
柏(飛五)	自昭和十三年十一月一日 至同十五年四月三十日	同	
濱松(飛七)	自昭和十三年六月一日 至同十四年六月三十日	飛行場	

(裁決)行決後 覽回		連帶		執行指定		決裁指定		保存期限	
長(部)局		長(部)局		大臣		件名		番受	
				委		航空要員教育要領ニ依ル増加人員中准士官、下士官、判任 文官定員區分ノ件		陸志第三五五号	
				官次		官次務政		番受	
				委				陸志第三五五号	
長課		長課		長局務主		官副級高		官與參	
		兵務 徵募 補任 參本		長課務主		副主		書記官	
		醫事 主計 銃砲 整備		長課務主		副主		書記官	
		衛生		員課務主		副主		書記官	
				房官臣大		課局務主		番受	
				了結領受		出提領受		號番	
				昭和		昭和		昭和	
				年		年		年	
				月		月		月	
				日		日		日	
				八月		八月		八月	
				日		日		日	

政務官
書記官 回付(決行前)

(決行後)

審案
筆記者



陸軍

軍事部第三五五号

副官ヨリ教育總監部本部長、關東軍參謀長、第一飛行集
團參謀長、陸軍航空本部總務部長及陸軍省各局長（除法
務）宛通牒

（陸密）

（戻ル件）

昭和十三年陸密第一一九號 航空要員教育要領改正ニ依リ

同年陸密第二六六號ニ依ル旨題ノ件別紙ノ通改正セラレタルニ付依命

通牒入

陸密第一二二七號

昭和十三年九月五日




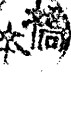




教育總監部關東軍第一飛行集團陸軍航空本部所轄部隊准士官下士官判任文官定員區分表

部 隊 階 級	陸軍航空本部			准尉	曹長	軍曹	主計下士官	衛生下士官	屬	技手	計	摘 要
	飛行部隊	航空技術研究所	航空工廠									
陸軍航空本部	一	三	二									一 附表第五、人員 二 下士官及判任文官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 三 各部下士官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 四 各部隊下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
陸軍航空技術研究所												
陸軍航空工廠												一 附表第六、人員 二 下士官及判任文官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 三 各部下士官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 四 各部隊下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
陸軍航空工廠 支立川												
陸軍航空工廠 各務原												一 附表第五、人員 二 下士官及判任文官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 三 各部下士官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 四 各部隊下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
陸軍航空工廠 本廠												
奉天野戰航空廠												一 附表第五、人員 二 下士官及判任文官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 三 各部下士官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 四 各部隊下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
熊谷陸軍飛行學校												
下志津陸軍飛行學校												一 附表第六、人員 二 下士官及判任文官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 三 各部下士官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 四 各部隊下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
明野陸軍飛行學校												
濱松陸軍飛行學校												一 附表第六、人員 二 下士官及判任文官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 三 各部下士官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 四 各部隊下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
水戸陸軍飛行學校												
陸軍航空整備學校												一 附表第六、人員 二 下士官及判任文官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 三 各部下士官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 四 各部隊下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
東京陸軍航空學校												
陸軍士官學校分校												一 附表第六、人員 二 下士官及判任文官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 三 各部下士官ハ判任文官又ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 四 各部隊下士官及判任文官ハ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
陸軍士官學校分校												

1505

1504




連 帶 票		八 月 廿 五 日	
補 任 課 御 中		軍 務 部	
件		依 及 増 加 人 員 申 請 世 實 頭 區 分 之 件	
     		連 帶 還 付 期 限 八 月 廿 七 日 迄	
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 陸軍省、陸軍部、陸軍省、陸軍部、陸軍省、陸軍部、陸軍省、陸軍部			

1505





連帶課	決裁指定	件名 補任課御中 軍務課 	連帶票 八月廿五日 日	
	局長			補任課御中 軍務課 
	課長			
	連帶還付期限			
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 補任課御中 軍務課 補任課御中 軍務課	局長 	課長 	八月廿五日迄	

1506

連帶課		決裁指定 局長 連帶印 局長 課長 		事件名 就選要員教育課長に就く兼加人員増添士費 下士費、兼任文官選要員照會ノ件		徵募課 御中 		連帶票 八月廿五日 日	
參考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 兼加人員増添士費、兼任文官選要員照會ノ件		連帶還付期限 八月廿七日迄							


1507


連帶課		局長		件名		兵務課御中		連帶票		八月廿五日			
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 本、担任、機務、兵務、監査、経理、庶務		印帶連 局長局		此種要員教育要領ニ依ル增加人員申請書、 下士官、担任文書処理業務ノ件		軍務課		八月廿五日					
		局長課										連帶還付期限	
												八月廿七日迄	

1508

連帶課		決裁指定	件名 航空要員教育要領ニ依リ增加人員申請士官、下士官、列任文官定員區分ノ件	整備課御中	連帶票	八月廿五日
		局長印				
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 陸軍、海軍、陸軍、海軍、陸軍、海軍、陸軍、海軍、陸軍、海軍		局長	八月廿七日迄			


1509

連帶課		判決指定 局 長 課 長 局 課 長		件名 銃砲要員教育要領ニ依ル増加人員申請士官、 下士官、列任支官定員区分ノ件	銃砲課御中 軍 署 	連帶票 八月廿五日 日
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 参事、主任、事務、員、長、課、長、課、長、課、長		連帶還付期限 八月廿七日迄 五午				

連帶課		局長		件名	至計課 御中	連帶票	八月廿五日
		印局長					
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 参本、補任、徵募、兵務、陸軍、航空、主計、醫務		課長		連帶還付期限	八月廿七日迄	陸軍省 19.8.2	至計課
							

<p>衛生課 御中</p> <p>軍事課</p>		<p>連帶票</p> <p>八月廿五日</p>	
<p>件名</p> <p>職控要員教育要領ニ依ル増加人員申請土官、 下土官、列任文官定員区分ノ件</p>		<p>決裁指定</p> <p>局長</p>	
<p>連帶課</p> <p>参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス</p> <p>局長</p> <p>課長</p>		<p>連帶還付期限</p> <p>八月廿七日迄</p>	

1512

連帶課		局長	決裁指定	件名 航空要員教育要領ニ依ル増加人員中准士官、 下士官、判任文官定員區分ノ件	參本第三課 御中	連帶票	八月廿五日
 補任、徵募、兵務、整備、銃砲、主計、醫事 <small>參考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス</small>		連帶局長	連帶局長				
							連帶還付期限
							八月廿七日迄 正午

1513

航空本部
第一課

通報先

密第三五五號其五

秘電報

一月一日

日午前午後一四時二〇分著

13.11.16

陸軍航空部
11-12

第十七師參電第二五〇號

副官宛 發信者第十七師團司令部

昭和十三年陸密第二二七号至急送付アリ度

(終)

二。部配布相成度

陸軍航空部

十廿四日

陸

航空本部
13.11.16
受付

陸軍航空部
11-12
送付

十一月拾八日

第二部

航本

1514

通報先

密 第三五五 第六

電報

小本副電第一八三號

副官宛 發信者第二十三師團參謀長

陸密第三二七號航空隊要員教育要領隸下
部隊配布用トシテ二五部至急配布セラレ度

13.11.13
海拉爾發

午後五時四十分發著

翻譯者

航空部 13.11.21 付
前10-11 送發信

陸軍

寄

終

出 555

1515



房官臣大		課局務主		大臣		件名	番號	受領	參與官	政務次官	
了結	領受	出提	領受	號番	大臣						
昭和	昭和	昭和	昭和	航本	委	航空要員採用ニ關スル件 (暗電)	第三五五號	空	回付	後	
年	年	年	年	發	本部長						
月	月	月	月	行	次官	政務	起元應(課)名	陸軍	決裁	連帶	
日	日	日	日	決	次官						
(裁決)行決		帶		運		國軍航空本部第一課		決行(決裁)後		同覽課名	
長局		長局		部長		書記官		參與官		高級	
長課		長課		副官		主務副官		主務		第一課長	
主務課長		主務課長		主務		主務御用係		主務		副官	
部員		部員		部員		部員		部員		部員	
者筆審		者筆審		者筆審		者筆審		者筆審		者筆審	
記案		記案		記案		記案		記案		記案	

陸密電

陸軍省副官ヨリ谷口部隊高級副官へ

谷副電第六六二號返、貴師團ニ於テモ採用スヘキモノナリ追テ陸密電

二二七號ハ後送ス

標

陸密電三三四

835 昭和七年三月五日



陸軍電信著信紙 1517

文	本	指	局發	局著
<p>タニフクマ ヨウクヨウインサイヨウニカンスルユンタ メハソノサイヨウニカンスルシヨチラナシアラズ ベキモノナリヤ、シキウヘンアリタシ、ヨウキフクカン</p>	<p>イタキニゴ 「リ」タ イニヒ ウセウ ワ 一 田 カ ニ ム</p>	<p>ホウテン</p>	<p>リクダ ノ ウ フ ク カ ン</p>	<p>三 交信分 分 技手 寄付番號</p>
事記			印 附 日	
ホウテン				

受付當日受信をシモノハ月日ヲ記入セズ

陸軍省

航空
陸軍省

電 第三五五七

電報譯十一

月廿七日午前午後五時五分發

第二一號

陸軍省副官宛 發信者 各部隊高級副官

谷副電第六六二号

陸密第二二七号昭和十四年度航空傭員採用ニ

關スル件ハ當師團ニ配付セラレアラザル為其ノ

採用ニ關スル處置ヲナシアラズ當師團ニ於テモ採

用スベキモノナリヤ至急返アリタシ

13.11.28

航空本部
13.11.28
付受

13.11.28

1519



谷副人善第五〇五號

三三五五 其九



昭和十四年度航空要員志願者ニ関スル件報告

昭和拾參年三月廿壹日

第百八師團長谷口元治

陸軍大臣板垣征四郎殿

本年陸密第二二七號ニ係ハル航空要員志願者
當師團ニ無キニ付報告ス



(納谷真京庫)

355

1520

航空部

秘

三九八

四軍人普第一四八號

昭和十四年度航空要員志願者連名簿提出件

昭和十三年十二月五日

第四軍司令官

中

今朝吾

陸軍大臣

板

垣

征四郎

費

昭和十三年陸密第二二七號ニ依ル首願ノ件別紙ノ通提出ス

12 付

13.12.1
12 連

陸軍部

佐藤

陸

軍

昼 3:55

航空要員（操縦）志願者連名簿												第四軍司令部	
第三條該	當區分	所屬	役種	官等級	徵集年	氏名	名	摘	要				
／	2	五國歩	現歩	軍曹	昭一〇	萩原俊典							
／	／	現	豫	伍長	昭一〇	鈴木三郎							
／	／	現	現	軍曹	昭九	風間榮							
／	／	現	現	軍曹	昭九	中村辰男							
／	／	現	現	軍曹	昭一〇	川口岩雄							
／	／	現	現	伍長	昭一〇	北川正幸							
／	／	現	現	伍長	昭一〇	眞田一夫							
／	／	現	現	上等兵	昭一〇	奥山國雄							
／	／	現	現	上等兵	昭一〇	小尾達志							
／	／	現	現	上等兵	昭一〇	渡邊廣衛							
／	／	現	現	上等兵	昭一〇	奥山田三郎							
／	／	現	現	上等兵	昭一〇	和田善正							

陸軍

六	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	五
國	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	國
步	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	步
現	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	現
步	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	步
軍	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	上
曹	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	等
昭	〃	〃	〃	昭	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	昭
一〇				一									一〇
柳	矢	田	長	齊	高	岩	小	眞	北	四	菊	中	佐
瀬	野	中	淵	藤	橋	佐	松	仁	本	官	地	坪	藤
一	登	和	春	生	音	敏	洽	田	善	市	武	清	清
示	睦	正	吉	智	逸	雄		次	助	太	男	芳	吾
								男		郎			

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	六國歩
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	現	豫	現	現
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	歩
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	上等兵	〃	〃	〃	伍長	軍曹
昭一	〃	〃	〃	〃	〃	昭一〇	〃	〃	〃	〃	昭一	〃	〃	昭一〇
鈴木安太郎	平松文藏	河原政男	月森昇	谷口太造	角屋秀次	田中松之助	大瀧正行	青木禮藏	田澤熊吉	清水幸八	廣木政雄	島津秀雄	〃	横山義雄

陸軍

/	2	/	2	"	"	/	"	3	"	"	"	"	/
"	"	"	"	"	七國守	六國守工	"	"	"	"	六國守砲	"	六國歩
現	豫	現	豫	"	"	"	"	"	"	"	"	"	現
"	"	歩	砲	"	歩	工	"	"	"	"	砲	"	歩
"	"	伍長	"	"	軍曹	上等兵	"	乙幹	"	上等兵	上等兵勤	"	上等兵
昭一	"	"	"	一〇	昭八	昭一〇	"	昭一二	"	"	"	昭一〇	昭一
内田今朝治	久永四年	友弘朝雄	古川茂夫	山崎克巳	松崎武雄	宍倉岩吉	松田忠雄	赤木貞雄	穂刈綱愛	武士均	鳥越能明	西部毅	鈴木貞雄

陸軍

計	七十九名	分遣中	池田金松	竹内三千男	松田左門	岸浪福雄	土生清造	清水成一	鈴木正治	小柳只次	金澤長衛	田中正一	高橋仁重郎
		昭一〇	昭一〇	昭一〇	昭一〇	昭一〇	昭一〇	昭一〇	昭一〇	昭一〇	昭一〇	昭一〇	昭一〇
		伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長
		砲	工	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲
		現歩	現歩	現歩	現歩	現歩	現歩	現歩	現歩	現歩	現歩	現歩	現歩
		七國守	七國守	七國守	七國守	七國守	七國守	七國守	七國守	七國守	七國守	七國守	七國守
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

航空要員(戦技)志願者連名簿												第四軍司令部			
第三條該當區分	所屬	役種	兵種	官等級	徵集年	氏名	摘	要							
/	五國歩	現歩	伍長	昭一〇	昭一一	杉山好弘									
2	五國砲	豫砲	伍長	昭一〇	昭一一	白尾虎夫									
"	"	"	"	"	"	河正夫									
"	"	"	"	"	"	池本敏三									
"	"	"	"	"	"	向井甚平									
"	"	"	"	"	"	小島昇									
"	"	"	"	"	"	小川宗太郎									
"	"	"	"	"	"	松村下學									
"	"	"	"	"	"	溝淵益喜									
"	"	"	"	"	"	川澤良水									
2	五國砲	豫砲	伍長	昭一〇	昭一一	高島吉美									
/	六國歩	現歩	伍長	昭一一	昭一一	長島長一									

陸軍

主任

1529

十三年
三九五

第

海軍
4.14
陸軍

翻譯者

陸軍
4.14
68
軍事課

電報

副官宛

發信者

甲集団參謀長

方人電 第三四八號

月一三

日午前後

一三時

三五

分分
著發

昭和十三年陸密第二二七號 (航空要員教育要領)

二關聯之必要ニ付同年陸密第二六六號一部

至急送付アリ度 当軍ニ配布セラシラス (終)

通報先

陸

軍



1530



留航司秘第四四八號

留守航空兵團航空要員教育細部規定ノ件報告

昭和十三年四月二十五日

留守航空兵團司令官 堀

丈

夫

陸軍大臣 杉山

元 殿



首題ノ件別紙ノ通規定セルニ付昭和十三年陸密第二二七號航空要員教育要領三十七ニ據リ報告ス

三五五



軍

1531



留守航空兵團航空要員教育細部規定

昭和十三年三月
留守航空兵團司令部



留守航空兵團航空要員教育細部規定

第一 總 則

一 本規定ハ留守航空兵團ニ於テ擔任スル航空要員ノ教育ニ關シ
特ニ必要ト認ムル細部ノ事項ヲ定ムルモノトス

二 本規定ニ示ササル事項ハ陸密第二二七號航空要員教育要領、
教育指示其他諸條規ニ據ルモノトス

第二 教育區分及教育實施ノ要領

三 昭和十三年度航空要員教育區分附表第一ノ如シ

四 操縦術修業者及戰技下士官教育ノ課程ハ航空兵隊本科專門教
育規定及附表第二戰技下士官教育課程表ニヨルモノトス

五 本教育ハ練習部ヲ有スル部隊ハ該部ニ於テ之ヲ有セサル部隊

ハ聯隊合同教育ニ依ルヲ本則トスルモ部隊ノ狀況上止ムを得
ルトキハ適宜ノ中隊ニ擔任セシムルコトヲ得

第三 器材、經理

六 本教育實施ノタメ特ニ配當スル器材ハ別ニ示ス

七 本教育實施ノタメ特ニ命達スル經費ハ別ニ達セラル

第四 報告、其他

（考科列表ハ六通）

八 航空要員教育要領第三十八條ノ報告ハ二通ヲ留守航空兵團司

令官ニ提出スルモノトス

九 本教育ノ爲特ニ規定ヲ設ケタル部隊ハ之ヲ留守航空兵團司令

官ニ報告スルモノトス

附表第一

考 備	官 士 下 技 戰				者 業 修 術 縱 操			種 類	人 員	教 育 期 間	担 任 部 隊
	第 四 回	第 三 回	第 二 回	第 一 回	同 右 (輕 爆)	同 右 (輕 爆)	六 九 期 下 士 官 (重 爆)				
一、本表中各時期並被教育者人員若干變更スルコトアリ	一三 二四	一三 十一 四	二 八 十	一 二 十	四 同 右	七 同 右	四 六 九	戰 技 下 士 官	留 守 航 空 兵 團	教 育 区 分 表 司 令 部	昭 和 十 三 年 度 航 空 西 女 員
	飛 行 第 四 聯 隊	飛 行 第 五 聯 隊	飛 行 第 四 聯 隊	飛 行 第 五 聯 隊	飛 行 第 三 聯 隊	飛 行 第 七 聯 隊	飛 行 第 六 聯 隊				

附表第二

戦技下士官教育課程表

課目	程	度
飛行機操縦術及航法ニ関スル事項	一、特種飛行及高度飛行ヲ体験セシム 二、晝間航法ノ諸元測定法ヲ會得セシム	
教練	一、單機教練 搜索 晝間ニ於ケル地點ノ標定ヲ略シ正確ニ行ヒ得ルニ至ラシム 空中戦闘 單機及編隊ニ對スル旋回銃戦闘ニ習熟セシム	二、通信

考	備	爆	射
<p>ニ、本教育ノ實施ニ伴ヒ任務達成ニ直接關係アル整備作業及諸裝備品ヲ取扱フ教育スルモノトス</p> <p>三、射撃場ノ關係已ムヲ得サル場合ニ於テハ實包射撃ノ一部ヲ省略スルコトヲ得</p>	<p>一、教育期間ハ約六箇月トシ教育開始後約三箇月ハ主トシテ通信ニ關スル地上教育ヲ實施スルモノトス</p>	<p>ノドス</p> <p>爆撃教育規定ニ據リ爆撃操作機ノ操作法ノミヲ教育スルモノトス</p>	<p>撃</p> <p>航空兵射撃教育規定ニ據リ偵察隊機上射手ニ對スル基本射撃ノ各習會ヲ完了セシムルモノトス</p> <p>三、編隊教練</p> <p>編隊内ノ連絡及警戒ニ習熟セシメ戦闘特ニ旋回銃火網構成法ニ習熟セシム</p> <p>無線通信ハ一分間三十字以上ノ速度ヲ以テ空地ニ對シ確實ニ交信シ得シム</p>